

仙台市議会たより

sendai city assembly

第140号

平成20年

第1回定例会号

<http://www.gikai.city.sendai.jp/>

2008年(平成20年)5月発行

発行 仙台市議会

編集 仙台市議会広報委員会

TEL (214) 6169 青葉区国分町3-7-1

年4回発行

せんだいメディアアテーク

建築家 伊東豊雄氏の代表作で、円筒状の柱が最大の特徴です。斬新な建築空間には、床と天井の特殊構造の施工に気仙沼の高度な造船技術が生かされており、国内はもとより海外においても高い評価を得ています。(所在地：青葉区春日町2-1)

3/14	3/12	2/29	2/28 3/13	2/27・2/28 3/7・3/12	2/22・2/25 2/26	2/20・2/21	2/14
本会議	本会議	本会議	予算等審査 特別委員会	常任 委員会	本会議	本会議	本会議
・議案の採決 ・意見書案の採決	・追加議案の提案理由 説明	・先議議案の採決	・予算等議案の議案審 査	・予算等議案以外の議 案審査	・一般質問18人	・代表質疑6人	・人事案件 ・議案の提案理由説明

定例会会期日程

市民のみなさまへ

第一回定例会

今定例会には、新年度予算案や条例案など六十三の議案が市長から提出されるとともに、議会からは「政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例」など四つの議案を提出いたしました。

代表質疑では、妊婦健康診査への助成の拡大、防災体制の整備、国からの借入金の繰上償還、食の安全、後期高齢者医療制度などについて質疑が行われました。

一般質問では、企業誘致等産業の振興、エル・ソーラ仙台的機能、教育環境の充実などについて質問が行われました。

また、総額九千二百億円余の平成二十年度一般・特別・企業会計予算案を審査するた

め予算等審査特別委員会を設置し、延べ十一日間にわたり活発な議論が交わされました。

政務調査費制度の見直し
地方分権の推進に伴い地方の自主性・自立性が拡大される中、議会は市政の議事・監視機関として、より一層、政策形成機能を充実強化するとともに、市民の皆様への説明責任を果たしていくことが大切になっていきます。

このような中、本議会では、議員の調査研究活動のため支給される政務調査費について制度の見直しを行い、四月から新制度での施行をしております。

今後とも、議員一同その適正な執行に努めてまいります。

仙台市議会

議長 赤間 次彦
副議長 佐藤 嘉郎

定例会の流れ



目次

市民のみなさまへ	1面
定例会会期日程	1面
定例会の流れ	2面
議案の紹介	2面
代表質疑	2・3面
一般質問	4・5面
常任委員会審議の概要	4・5面
用語解説	5面
予算等審査特別委員会	6・7面
会派別議案等賛否一覧表	6・7面
政務調査費制度を改正しました	6・7面
議員提案条例の紹介	6・7面
意見書・請願	6・7面
編集後記	6・7面
次回定例会のお知らせ	8面

議案の紹介

今定例会に提出された議案等67件のうち66議案が可決され、成立しました(8面の賛否一覧表を参照ください)。以下、成立した議案の一部を紹介いたします。なお、平成20年度予算の審議については、6・7面の特集「予算等審査特別委員会」をご覧ください。

平成十九年度補正予算

一般会計(主な補正予算項目)
・後期高齢者医療制度開始に伴い新たに発生する保険料負担を半年間凍結すること等が決定されたことを受け、所要のシステム改修を行うため二千五百万円を支出するもの
・宮城県赤十字血液センターの移転新築に要する経費の一部を県

及び県内市町村と協調し助成するため五千万円を支出するもの
・幸町小、南光台東小、松森小、加茂小、中野中、将監中の耐震補強事業を追加するため七億九百三十万円を支出するもの
・あすと長町土地地区画整理事業において、平成十九年度の国庫補助金が追加措置されることに対応して埋蔵文化財発掘調査費を二億四千万円支出するもの

に関する条例の一部を改正する条例
平成二十年四月一日から平成二十一年三月三十一日までの間における常勤の監査委員及び常勤の人事委員会の委員の給料月額を減額し地域手当の支給割合の特例を定める等のもの
市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例
平成二十年四月一日から平成二十一年三月三十一日までの間における市長等の給料月額等を減額し地域手当の支給割合の特例を定める等のもの
特別会計条例の一部を改正する条例

「独立行政法人福祉医療機構法」の規定に基づく保険約款の変更を考慮し、掛金の月額並びに弔慰金及び脱退一時金の額を改定するもの
介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
「介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部を改正する政令」の改正を考慮し、第一号被保険者の平成二十年度における保険料率の特例を設けるもの
建築基準法の施行に関する条例の一部を改正する条例
「建築基準法」の改正を考慮し開発整備促進法における建築物の用途の制限の適用除外に係る認定申請手数料を定めるとともに、県知事の構造計算適合性判定を求めなければならない建築物に関する建築確認申請等手数料

料の加算額を還付することができるとするもの
自転車等駐車場条例の一部を改正する条例
駐車料金を徴収する道路附属物自転車等駐車場に必要事項を定めることと、長町駅東口自転車等駐車場、同駅西口自転車等駐車場及び太子駅自転車等駐車場を設置する等のもの
学校条例の一部を改正する条例
高等学校の授業料を改定するとともに、仙台大志高等学校、仙台青陵中等教育学校及び富沢小学校を設置し、仙台商業高等学校及び仙台女子商業高等学校を統合する等のもの
学校給食センター条例の一部を改正する条例
野村学校給食センターを設置することと、野村第一学校給食センター及び野村第二学校給食

センターを廃止するもの
国民健康保険条例の一部を改正する条例
「国民健康保険法」等の改正にあわせ後期高齢者支援金等賦課額に必要事項を定め基礎賦課額の賦課限度額を改定することと、普通徴収に係る保険料の納期を改める等のもの
人事
仙台市固定資産評価審査委員会の委員の選任
入江 範子 庄子 正文
小野寺 和夫
人権擁護委員候補者の推薦
菅原 眞喜子 亀谷 佳子
佐藤 千枝 田所 充子
五島 昭 日下 覚実
仙台市人事委員会の委員の選任
可沼 伸一

改革ネット・民

野田 謙 議員

妊婦健康診査に対する

助成について

問 妊娠・出産に係る経済的負担軽減のため、市が妊婦健康診査に対する助成の大幅な拡充を打ち出したことは評価する。その狙いと制度の概要について伺う。

答 少子化対策の一環として、経済的不安を軽減し、積極的な妊婦健康診査を促すため助成回数



妊婦健康診査の積極的な受診を

以降出産予定の方を対象に、総額は一人あたり五万八千円、助成回数は最大十回を想定しており、現段階では妊娠週数に応じ利用できる助成券方式の実施を考えている。

小・中学校の統廃合について

問 小・中学校の統廃合は再検討の必要があると思うが、小・中学校適正規模等検討委員会の最終

報告後、学校の一定規模確保のための実施計画にどう取り組むのかも、現在の見解と、今後の進め方も含め伺う。また、計画策定・公表の時期について見通しを伺う。

答

学校の状況や地域事情等を綿密に調査し、地域の方々の陳情や議会の質問を踏まえ慎重に検討してきた中で、報告で統廃合が妥当とされた全中学校を計画の対象とするのは困難と判断している。今回は特に児童数減少が著しく、緊急度が高い小学校を優先的に実施の対象とし、中学校は今回の計画の対象としない。計画の策定・公表は二十年度を考えている。その他の主な質疑項目
食の安全と安心
窓口業務の外部委託
在宅訪問歯科診療の現状と充実
ガス事業の民営化

代表質疑

きぼう

鈴木 勇治 議員

地域固有の魅力や個性を

維持・推進できる施策を

問 市の周辺部(秋保地区や生出地区など)が持つ、良好な自然環境や地域コミュニティの連帯など、優れた個性を維持・推進するとともに、地域課題に的確に対応するための施策を講ずるべき。

答 地域づくりには、地域固有の魅力や強みを再認識し、有効活用することが重要と認識している。



地域コミュニティが盛んな生出地区(生出森八幡神社神楽・市指定無形文化財)

地域課題の解決に向けては、地域の皆様のご意見を真摯に伺い、的確な対応を図るとともに、地域の窓口である区役所を中心として地域の皆様との連携に努め、個性と魅力ある地域づくりに鋭意取り組んでいきたい。

問 市借入金の利払費削減について、国からの借入金の繰上償還

を行うにあたり、市の資金調達は利払費の削減効果を拡大するため入札で行うべき。

答

今年度末の償還は、その約二十六%にあたる五十七億円程を入札で、その他は地元銀行等からの借入で調達する。昨今の行財政環境のもとにおいては、有利かつ安定的な資金調達的重要性が、今後ますます高まっていくものと考えている。今回、下水道事業で実施した入札結果の検証を行いながら、平成二十一年度の繰上償還では、より低廉な資金調達に向け、入札拡大に際して積極的に検討していきたい。その他の主な質疑項目
外郭団体の見直しと新公益法人制度について
区役所等窓口サービス向上対策
地域包括支援センターの強化

公明党

笠原 哲 議員

食の安全対策について

問 我が国は食料の六割を輸入している。食の安全確保の面から輸入食品の検疫体制の強化と健康被害が発生した場合の対策が重要と考えるが、備えの状況はいかがか。

答 国に対して検査体制の充実強化を要望するとともに、本市としては、仙台検疫所の輸入時検査に併せた監視指導の実施等を行っ



衛生研究所での検査用食品サンプルづくり

てまいりたい。また、健康被害の疑いのある事例が発生した場合は、市民や事業者への適切かつ迅速な情報提供により再発や被害の拡大防止に万全を期したい。

妊婦健診の公的助成を

里帰り出産へも適用を

問 新年度から妊婦健診の助成が十回に拡充される。里帰りにした地域で出産される方々も健診助成

の対象となる配慮を求めるが、県内の医療機関については助成が受けられるよう、仙台医師会と調整を行っている。県外での里帰り出産については、今後、実態の把握に努め、必要性や手法等を検討してまいりたい。その他の主な質疑項目
道路特定財源暫定税率の廃止に伴う本市への影響
行政改革へ「事業仕分け」の手法を取り入れては
宮城野原公園総合運動場を含む地域の将来像
救急患者のたらい回し防止へ救急受け入れ表示システムの導入
古紙パルプ配合率の偽装問題
農業の活性化
高校生への奨学金制度の創設
外部専門家を入れ認可保育所の所得階層別保育料体系を見直し

民主クラブ台

日下 富士夫 議員

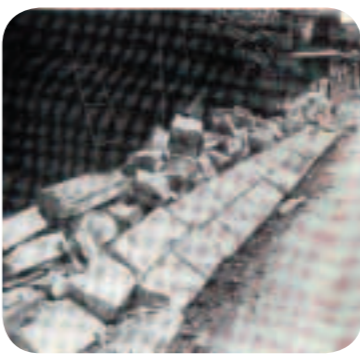
宮城県沖地震の再来等に備えた

防災体制の整備を

問 宮城県沖地震から三十年目となるが、本市の防災対策全般の考え方は、また、学校施設の耐震補強、危険ブロック塀除去等の状況、耐震改修促進計画による民間住宅改修促進策、「災害時要援護者支援の手引き」の活用策を伺う。

答 施政方針で、「市政すべての基本としての安全・安心の確保」

を施策の柱と位置づけたところであり、災害に強い都市基盤を形成するため、ハード・ソフト両面にわたり戦略的に防災体制の強化に努めてまいりたい。
学校施設の耐震補強は、校舎・体育館について平成八年度から計画的に進めており、二十年度で完了予定。耐震化のための改築は、二十三年度までに完了予定である。危険なブロック塀はこれまで除却や改修が行われ、十九年度末現在で残り百四十二箇所であり、個別訪問による指導・助言や六十五歳以上の高齢者への新たな塀の除却費用割増し制度により、早期の除却を図りたい。
民間住宅については、分譲マンションの耐震精密診断費用の助成及び耐震化相談員派遣制度を設け、一層の耐震化促進を図りたい。手引きについては、町内会等へ



6.12宮城県沖地震から30年(写真は地震により倒壊したブロック塀)

その他の主な質疑項目
食の安全性確保の強化策は
精神科救急医療の早期実施を
仙台城址の大手門の早期復元を
地元プロスポーツチームをシティセールスに活用し、誘客拡大を
道路特定財源問題への市長所見
小中学校統廃合計画は慎重に
ガス事業民営化の速やかな推進を

日本共産党

嵯峨 サダ子 議員

後期高齢者医療制度の

中止・撤回

問 長生きが喜べない、七十五歳という年齢を重ねただけで差別する後期高齢者医療制度は、制度そのものを中止・撤回しよう国に対し、強く求めるべき。

答 本制度は、国民皆保険を堅持し、将来にわたり医療保険制度を持続可能にするため、また、医療費の負担を公平かつ透明にする

ために制度化されたことを認識しており、医療制度改革の趣旨に沿って適切に運営されるよう、国に対して必要な支援等を求めていく。
市立保育所の民営化中止を

問 市民や保護者の声を無視して、市立保育所の民営化を強行すべきではない。大野田、原町を始め、民営化対象の保育所は、公立のまま建て替えることを求める。

答 本市の厳しい行財政環境を踏まえ、老朽化する公立保育所を建て替える民間の力の活用を原則としながら、計画的に実施するため、保育施策推進のための保育所の役割に関する方針を策定した。運営主体の選定基準や引き継ぎ・合同保育のあり方などの基本的なルールを示したガイドラインに基



「公立での建て替えが求められる大野田保育所(太白区)」

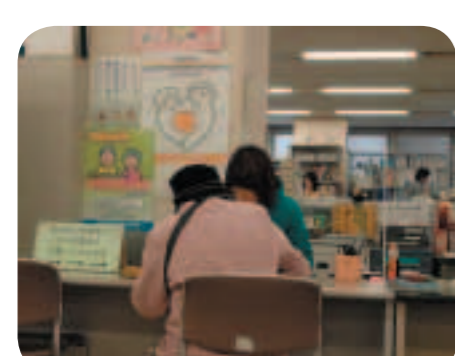
社民党

辻 隆一 議員

後期高齢者医療制度の廃止を

問 高齢者に過度な負担を強い後期高齢者医療制度は抜捨て保険制度であり、国に対して廃止するよう求めるべきだが、いかがか。

答 この制度は、高齢化の進行とともに増大する老人医療費を、社会全体で支え合うために創設されたものと認識している。国民皆保険を堅持し、将来にわ



4月から後期高齢者医療制度がスタート(高齢者医療相談の窓口)

たり医療保険制度を持続可能なものとしていくために必要なものと考えているので、国に対しては、制度の趣旨に沿った適切な運営が行われるよう、必要な支援等を求めていきたい。

答

待機児童については、毎年年度途中での入所希望もあり、年度末に向けてその待機児童数が増加している状況にある。そのため、今後とも継続して新たな保育所の整備や、既存保育所の定員増を図っていくとともに、老朽化した公立保育所の建て替えの際に、地域の状況に応じて定員を増やすなどの対応により、待機児童の解消に努めていく。その他の主な質疑項目
市民との協働の市政運営
市税収入アップの具体策
基本健診事業のあり方
行政サービスセンターの見直し及びガス事業民営化に市民意見の反映を
国による管理が強まる教育行政

一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といえます。18名の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨、質問項目を掲載しています。



教育に学ぶ取組みについて
自主防災組織の活動支援策
すず健康ランド
仙台市青葉区
福地センター
の建設が完了し、5月1日
にオープンした。

改革ネット・市民

加藤 和彦 議員
セントラル自動車進出により、専用貨物列車の増便等でJR宮城野貨物駅の混雑が予想される。将来の駅移転も視野に入れた物流機能強化支援策について伺う。

同社 物流計画は未だ明らかでない。来年度に鉄道貨物駅あり方やトラック輸送需要等の調査をしたい。その他の主な質問項目
セントラル自動車の進出
・自動車工業技術者の養成
・従業員転任の諸問題
仙山線の紹介と役割
イベント列車の運行

跡部 薫 議員
大手企業の県内進出を機とする、仙台圏の産業集積の育成と産学連携強化による産業振興策について伺う。
同 知的資源の集積を活用し、有望な分野での産学連携と企業誘致との有機的な連携を図り、併せて地域企業の底上げを図る産学連携を推進し、産業集積の形成を進めていく。その他の主な質問項目
外国人子女教育機関の支援
フィンランドプロジェクト
の現状と福祉、教育、職能

齋藤 範夫 議員
仙台市立病院基本構想では、経営など重要事項の検討が欠落・先送りされている。健全経営に向けた広範な議論を行うべきではないか。
同 基本計画策定において、収支計画等については十分検討を行い、またパブリックコメントを実施し、広く市民の意見を聴いていきたい。その他の主な質問項目
ペガルト仙台の経営問題
国民健康保険特別会計とメダボリック検診・指導
下水道使用料の適正化
学力を中心とした教育問題

高橋 次男 議員
地域の故事来歴を知ることが住民の郷土愛の涵養や観光資源の開発にもつながる。デスクネイションキャンパインを契機に地域を見直し、更なる拡大・発展に資するべきだが、所見を伺う。
同 本キャンパインも契機としながら、本市の文化財や伝承を活用し、郷土色豊かなまちづくりが行えるように、地域の方々が行えるように、地域の活性化に努めたい。その他の主な質問項目
遺跡の標柱・掲示板の補修
中田中央公園の施設整備等

渡辺 博 議員
地方分権改革正念場の今こそ、市長自らリーダーシップを発揮し、市民全体で改革推進運動を展開し、県内や東北主要都市を中心に働きかけるべきだが、所見を伺う。
同 市民に適切に情報を提供しながら、議会での議論等も十分踏まえ、東北市長会や他の政令市とともに積極的に取り組んでいきたい。その他の主な質問項目
広域連携と市長の役割
エル・ソーラの都市機能
市長の現場主義

大泉 鉄之助 議員
新年度施政方針に接し、就任以来過去二カ年度の方針を踏まえ、あらためて梅原政治の目指すものについて、市長自身の所見と見解を伺う。
同 現在そして将来の市民の幸せを第一とし、多くの先達から継承されてきた歴史と伝統、文化を尊重しつつ、地方分権等の時代の課題を乗り越え、仙台を発展させていく。その他の主な質問項目
都心の大学や高校の跡地の活用を意識した都市計画
中長距離バスを包含した仙台駅の交通結節機能の整備

安孫子 雅浩 議員
後期高齢者の増加により認知症ケア対策は重要課題になっていくが、市の対応は、認知症の方と家族が地域で安心に暮らせるよう在宅サービスの充実等に取り組む。青葉通ケヤキ伐採木の市民への還元を求めているが、外部アドバイザーを交えた検討会議でその活用を検討し、年度内に決定したい。その他の主な質問項目
仙台ハーフマラソンと仙台カップサッカーの見直し
魅力ある八木山動物園整備
新天文台開台と子供図書室

熊谷 善夫 議員
新年度からの産業創出部の新設等、組織改編の意図

一般質問

審議の概要

及び企業等誘致戦略の考え方について伺う。
同 今回、産学官連携事業拡充や産業創出への取り組み推進のため、産業創出部を新設する。今後は産業基盤整備に地域一体となって取り組み、企業進出の流れを継続したい。その他の主な質問項目
住民自治組織の現況と育成
防犯と迷惑行為への対策
ごみ有料化の地域説明会
小中学校生徒のボランティア活動の状況と指導



家庭ごみ等有料化に関する地域説明会

えた取り組みを求める。
同 食の安全や生産者へ感謝する心を育む観点からも、地産地消の拡大に努める。また、食品の栄養バランスと心の関係は食育に関わる課題として、事例を調査していく。その他の主な質問項目
子宮頸がん検診の新成人への周知とHPV検査の導入
広域保育への取り組みを



宮城の特産物と郷土料理をテーマにした学校給食

小野寺 利裕 議員
教育の世紀といわれる二十一世紀、学都・仙台へと形容されることへの市長の所見を伺う。
同 子供達の教育環境を充実させ、将来を見据えた人材育成と将来にわたる持続的な人材確保を行い、「仙台で学んでよかった」と思われる街となること、世界に誇れる学都・仙台と言えるのではないかと認識している。その他の主な質問項目
特別支援教育の学校の状況及び専門職員の配置状況
歯科矯正治療への補助事業
菊地 昭一 議員
本市市の十七%が居住する分譲マンションの良好な居住空間構築は、都市政策の根幹に関わる問題だが、市長の基本的な見解を伺う。
同 長期修繕計画策定や維持管理に適切な情報提供を行うなど、適正なマンション管理運営が図られるための支援策に取り組んでいきたい。

伊藤 新治郎 議員
新年度にあたり、今後の都市づくりと子育て支援、子供達の教育についてどのように取り組むのか伺う。
同 安全・安心な都市であることが重要という認識のもと、「創造」と「交流」の基本理念に基づき都市づくりに取り組む。また、子供の成長段階に応じた子育て支援策や学力向上をはじめ、教育環境の更なる充実と努力を挙げる。その他の主な質問項目
防災や防犯等、市民生活の安全・安心
消防団の整備の充実

小田島 久美子 議員
子供たちの心身の健康を育む学校給食に、地場産の食材を取り入れるべき。また、他都市の成功例の分析も含め、栄養バランスや心の健康を考

公明党

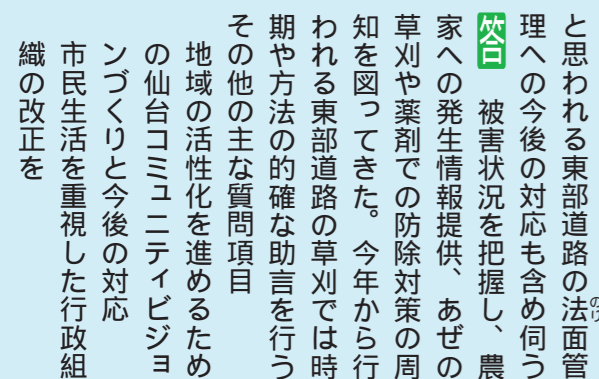
プを発揮し、市民全体で改革推進運動を展開し、県内や東北主要都市を中心に働きかけるべきだが、所見を伺う。
同 市民に適切に情報を提供しながら、議会での議論等も十分踏まえ、東北市長会や他の政令市とともに積極的に取り組んでいきたい。その他の主な質問項目
広域連携と市長の役割
エル・ソーラの都市機能
市長の現場主義

高見 のり子 議員
市営住宅エレベーターの保守点検費用は、共益費に含めず自治体負担すべきか、負担のあり方について伺う。
同 市営住宅に安心連絡員制度を設けて、高齢者が安心して暮らせるようにすべき。
同 市建設公社で十九年度から、七十歳以上の単身者を訪問面談し、日常の生活状況や安否の確認等を行っている。



青葉区十里平の酪農家の畜舎

相沢 和紀 議員
市内の水稲のカメムシ被害について、要因の一つと思われる東部道路の法面管理への今後の対応も含め伺う。
同 被害状況を把握し、農家への発生情報提供、あぜの草刈や発生剤での防除対策の周知を図ってきた。今年から行われる東部道路の草刈では時期や方法的確かな助言を行う。その他の主な質問項目
地域の活性化を進めるための仙台コミュニケーションビジョンづくりと今後の対応
市民生活を重視した行政組織の改正を



八木山動物公園内に建つペープ・ルース像

日本共産党
十・七%の輸入食品検査率を五十%以上に引き上げる検査体制の充実、食品衛生監視員大幅増員を国に求め、必要に応じ、他の自治体と連携を図りながら、国への要請等適切に対応してまいりたい。その他の主な質問項目
米価安定のため備蓄米の放出を国にやめさせるべき
酪農畜産農家を支援し、自給飼料確保のため牧草やえさ米などへの助成を強めよ
安全性が不透明な輸入食品は学校給食に使用するな

社 民 党
新規動物導入へのペープ・ルース像活用等、魅力ある百万人の動物園づくりを伺う。
同 今後モアイイ等希少種導入を行うほか、今年には像建立の経緯を踏まえ、プロ野球球創世からイグルス誕生までのテーマのイベントを行う。その他の主な質問項目
エル・ソーラ仙台は縮小せず、男女共同参画の推進を
地球温暖化対策として、より利用される東西線整備を
歴史的建造物保存を支援し、より魅力的な仙台の風景に
D C成功に向けた取り組み

大槻 正俊 議員
新年度からの産業創出部の新設等、組織改編の意図

用語解説

本文中に青文字で表記した用語を解説しています。
アセットマネジメント(注一)(四面四段)
資産管理(Asset Management)。下水道管きよや道路橋りょう等の施設を資産としてとらえ、損傷や劣化等の状態を的確に把握・評価して将来予測を行い、有用性と寿命が最大になるように資産の管理を行う経営手法のこと。
HPV検査(注二)(五面一段)
HPVはヒトパピローマウイルスのこと。誰でも感染する可能性のあるウイルス。HPV検査は百種類以上あるヒトパピローマウイルスのうち、長期感染すると子宮頸がんの発症に關与すると考えられている、十数種類のウイルスへの感染の有無を調べる検査のこと。
ノルディックウォーキング(注三)(六面一段)
専用のポールを使って歩く運動のこと。北欧の夏場のスキー

付託された七議案のうち、第四十六、四十八号議案は賛成多数で、他の四議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。
同 仙台駅東再開発住宅の使用料滞納者に対しては、長期滞納に至る初期の段階で事情を聞き、福祉的対応をすべきでなかったか。
同 今後も当事者と話し合いを進められるような工夫を行うとともに、滞納処理と今後の生活についても、福祉部門と連携を図りながらきちんと対応してまいりたい。都市整備局からの報告事項
長町駅東口・太子堂駅の駅前広場等の供用開始について
泉区からの報告事項
七北田橋の供用について

付託された七議案のうち、第四十四号議案は賛成多数で、他の六議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。
同 新野村学校給食センターの調理業務に關し、請負会社の職員が、市の職員である栄養士の指示のもとに働くという構図は、違法行為の疑いがあるのではないか。
同 これまで調理業務を民間委託している給食センターにおいて、契約書等の見直しの際などに労働局等に相談しているが、職業安定法及び労働者派遣法に違反しているとの指摘は受けていない。付託議案以外の質問
教職員の採用状況について
A E Oの設置について
エル・ソーラ仙台について

付託された七議案のうち、第四十六、四十八号議案は賛成多数で、他の四議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。
同 仙台駅東再開発住宅の使用料滞納者に対しては、長期滞納に至る初期の段階で事情を聞き、福祉的対応をすべきでなかったか。
同 今後も当事者と話し合いを進められるような工夫を行うとともに、滞納処理と今後の生活についても、福祉部門と連携を図りながらきちんと対応してまいりたい。都市整備局からの報告事項
長町駅東口・太子堂駅の駅前広場等の供用開始について
泉区からの報告事項
七北田橋の供用について

委員に付託された議案番号を、各常任委員会名の隣にまとめて記載しています。また、各議案・意見書案名については、8面の会派別議案等賛否一覧表、意見書欄をご覧ください。

健康福祉委員会
健康福祉局・子供未来局、市立病院を所管
付託された議案 なし
健康福祉局・子供未来局からの報告
冬季生活助成金等の実施状況
同 助成金対象者で申請漏れの方があれば、なおお配りをしては
同 対象世帯に申請書と返信用封筒を郵送したほか、メディアを通じ幅広い広報・通知を行ってきたが、今後市政テレビ・ラジオや新聞広告により周知に努める。
同 中国産冷凍ギョーザ中毒事件に対する本市の対応
同 被害を未然に防ぐため、事業者や市民に自主回収のルールを徹底させるための対策を伺う。
同 事業者の現場担当者への講習会に加え、経営者対象のトップセミナーを実施するほか、市民に対し、出前講座や安全安心講習会、ホームページ等で周知徹底を図る。

都市整備建設委員会
都市整備局・建設局を所管
付託された議案番号 (第45・49・56・57号)
付託された七議案のうち、第四十六、四十八号議案は賛成多数で、他の四議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。
同 仙台駅東再開発住宅の使用料滞納者に対しては、長期滞納に至る初期の段階で事情を聞き、福祉的対応をすべきでなかったか。
同 今後も当事者と話し合いを進められるような工夫を行うとともに、滞納処理と今後の生活についても、福祉部門と連携を図りながらきちんと対応してまいりたい。都市整備局からの報告事項
長町駅東口・太子堂駅の駅前広場等の供用開始について
泉区からの報告事項
七北田橋の供用について

付託された七議案のうち、第四十四号議案は賛成多数で、他の六議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。
同 新野村学校給食センターの調理業務に關し、請負会社の職員が、市の職員である栄養士の指示のもとに働くという構図は、違法行為の疑いがあるのではないか。
同 これまで調理業務を民間委託している給食センターにおいて、契約書等の見直しの際などに労働局等に相談しているが、職業安定法及び労働者派遣法に違反しているとの指摘は受けていない。付託議案以外の質問
教職員の採用状況について
A E Oの設置について
エル・ソーラ仙台について

常任委員会 審議の概要

経済環境委員会
環境局・経済局・農業委員会を所管
付託された議案 なし
経済局からの報告
セントラル自動車に対する情報提供について
仙台・宮城D Cプレキャンパインの結果等について
同 セントラル自動車等の仙台圏への進出は、当市にとっても千載一遇のチャンスと捉え、スピード感のある事業を展開すべき。
同 今回の企業進出は、集積が集積を呼ぶ好機と認識している。この機を逃さないよう施策を進めてまいりたい。
同 その他の質問事項
ごみ減量は、市民と事業者が一体となって進めるべき。事業者のごみ発生抑制に向けた指導をごみ有料化の市民説明会は、市民の視点に立った分かりやすいものとすべき

市民教育委員会
企画市民局・教育委員会を所管
付託された議案番号 (第37・44・51・54・61号)
付託された七議案のうち、第四十四号議案は賛成多数で、他の六議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。
同 新野村学校給食センターの調理業務に關し、請負会社の職員が、市の職員である栄養士の指示のもとに働くという構図は、違法行為の疑いがあるのではないか。
同 これまで調理業務を民間委託している給食センターにおいて、契約書等の見直しの際などに労働局等に相談しているが、職業安定法及び労働者派遣法に違反しているとの指摘は受けていない。付託議案以外の質問
教職員の採用状況について
A E Oの設置について
エル・ソーラ仙台について

付託された七議案のうち、第四十六、四十八号議案は賛成多数で、他の四議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。
同 仙台駅東再開発住宅の使用料滞納者に対しては、長期滞納に至る初期の段階で事情を聞き、福祉的対応をすべきでなかったか。
同 今後も当事者と話し合いを進められるような工夫を行うとともに、滞納処理と今後の生活についても、福祉部門と連携を図りながらきちんと対応してまいりたい。都市整備局からの報告事項
長町駅東口・太子堂駅の駅前広場等の供用開始について
泉区からの報告事項
七北田橋の供用について

予算等審査 特別委員会

委員長 岡本 あき子
副委員長 庄司 俊充

本委員会は、全議員六十名で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、各会計・費目ごとに一問一答形式で質疑を行うものです。
審査は二月二十八日から十一日間開催され、延べ七十九名の委員が三十六時間にわたる審査を行いました。
主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

改革ネット・自民

問 佐々木 両道 委員
将来の社会に向けた人づくりに関し市長の教育観は、**答** 公教育は、子供達が人生を生き抜く力を身につけ成長するためのものであり、家庭と学校、地域の密接な協力・連携が重要と考えている。
問 地方分権に関する市長の所見を伺う。
答 地方あつての国という信念のもと、将来の道州制も見据え、東北全体の発展に貢献する都市を目指したい。

問 各団体の活性化、更なる発展に努めてまいりたい。
外郭団体の人事交流
西澤 啓文 委員
問 国は花粉対策として仙台圏域固有スギ人工林の1/3の間伐を全国で初めて行った。市も花粉症・鳥獣被害対策及び林業振興を図る上で、市・私有林の間伐を進めるべき。
答 ご指摘の点も考慮し、国と連携しながら間伐事業を促進するとともに、地元産材の利用促進にも努める。
問 自転車利用に際し、留学生を含む在仙外国人に走行・駐輪マナー順守の指導を
渡辺 博 委員

問 動物愛護のため動物管理センターの役割を強化し、動物愛護協議会も現実に対応した活動をしていくべきでは
答 動物愛護には様々な課題がある。施策の実施にあたっては市民協働による取り組みを推進してまいりたい。
問 狂犬病対策のための飼犬数把握と予防注射率引上げの徹底を教える幼稚園・小学校での動物介在教育地域猫対策について
跡部 薫 委員

問 市は地域の介護予防自主グループを支援し、既存団体との連携を目指すべき。
答 体育振興会の協力を受けるグループもあり、来年度以降の地域の各種団体の連携について検討していく。
問 ルディックウォーキングの普及啓発と市民センターを拠点とした展開の必要性
大内 久雄 委員



「仙台の新しい魅力発信のため、一ぶるの仙台のルートを見直しを」

問 東北インターナショナルスクール等、外国人子女への教育機関の整備と支援策
岡部 恒司 委員
問 仙台の魅力を紹介し、観光客の滞在時間を高めるために、大崎八幡宮周辺ルート新設等、一ぶるの仙台のルート見直しを行うべき。
答 ルートの変更等については課題解消に努め、十月からのテストイネーションキャンペーンでの試行的運行を検討したい。運行した場合は結果をきちんと評価し、来年以降どうするかを検討したい。
ジェネリック薬品の推進を
高藤 範夫 委員

問 政策評価システムの導入にあたり、その有効活用のために、評価結果が事業に具体的にとのよう反映され、たかを市民へ公表することや予算編成等への適切な反映が不可欠だ。所見を伺う。
答 政策評価は実施するだけでなく、評価結果を行政の質の向上につなげることが必要と考える。市民への説明責任を果たしながら、成果重視の施策展開に取り組む。
鈴木 繁雄 委員

問 市外外郭団体の職員の仕事への意欲を高め、市民の奉仕者として市政に取り組むようすることは、市長の仕事として大切であるが、所見は。
答 外郭団体が組織として専門性を組織全体でしっかりと発揮し、職員が仕事への意欲を高めて働ける仕組み作りを努力したい。また、
荒浜第二旭橋より消防
大内 久雄 委員

問 中田袋原線は一日も早い供用開始に努め、中田北線は工事完了後に混乱のないよう工夫することや、
答 中田袋原線は早期の事業効果発現に向け工事を進め、中田北線は完成後に混乱が生じないよう努めたい。道路整備にあたっては調査・検討を十分に行い、効率的で効果的な整備を進めてまいりたい。
大内 久雄 委員

問 中田袋原線は一日も早い供用開始に努め、中田北線は工事完了後に混乱のないよう工夫することや、
答 中田袋原線は早期の事業効果発現に向け工事を進め、中田北線は完成後に混乱が生じないよう努めたい。道路整備にあたっては調査・検討を十分に行い、効率的で効果的な整備を進めてまいりたい。
大内 久雄 委員

きぼう

問 熊谷 善夫 委員
杜の都環境プランは平成二十二年度が目標年度だがそれ以降の新しく目指すべきプランの検討状況を伺う。
答 これまでの環境施策の効果を検証し、今後のための基礎調査を実施している。ごみ有料化の市民説明会共同住宅の集積所への対策ごみ排出違反への過料条例ごみ収集車を活用してのごみ出しルールの広報放送
郷湖 健一 委員

問 市民の食の安全の理解度食糧自給率の向上について
鈴木 勇治 委員
問 地域ごとの特色を活かせる独自の農業振興策の確立が必要だが、所見を伺う。
答 地域特性を生かした特産品の開発など、農産品の付加価値を高める独自の農業振興策を展開していきたい。介護予防のための新規施策介護現場の人材不足を踏まえ介護報酬や基準の改正を市バスの安全運行と運転士の過密勤務の解消
運転士と管理職の意思疎通

問 福祉系外郭団体の改革
柳 邦彦 委員
問 仙台市の現在の経済状況認識として、スタグフレーションの局面はないか。景気判断の数字的裏づけについて伺う。
答 地域企業へのアンケート、民間調査機関の調査結果などを参考に判断している。セントラル自動車などの進出企業の関連企業に対する誘致について
伊藤 新治郎 委員

問 家庭ごみ等有料化導入に伴い排出指導の徹底を。
答 町内会との連携や学生・単身者対策等に連携し、排出ルールの周知徹底に努める。
問 地球温暖化対策に市民参加型の補助事業の実施を。
答 新エネルギーを利用したシステム設置に対する補助を検討課題としている。
問 クリーン仙台推進員制度アイドリングストップ普及天然ガス仕様の燃料電池
松森工場発電能力の活用
経済費

問 農業を取りまく農政の諸問題についての施策を伺う。
答 認定農業者や営農組織の育成、地産地消の推進、アグリビジネスの支援等により、農業の環境づくりを進める。農業従事者の高齢化並びに担い手育成について
市民農園を活用した食の安全性の確保について

問 負担金の減免制度拡充を
嵯峨 サダ子 委員
問 発達相談支援センター（アール）の相談体制を充実するため、嘱託職員が担っている心理判定員、保育士、保健師、作業療法士は正規職員として雇用すべき
高見 のり子 委員
問 あすと長町開発事業で燕沢に移転したJR貨物機関区の騒音問題は住民の生活権居住権、財産権を脅かす大問題。一日も早く解決するよう市は力を尽くすべき
すげの 直子 委員

問 教材書給与と制度の所期の目的達成に向け検証を行う。コミュニティセンターの維持修繕に必要な予算措置を
福島 かずえ 委員
問 「偽装請負」の疑いがある新野村学校給食センターと加茂学校給食センターは調理業務の民間委託をやめ、食の安全安心と労働法制遵守が一致する直営にすべき
すげの 直子 委員

問 多重債務対策の強化を。
答 庁内連絡会議での課題検討や、相談窓口の周知等に努めていく。
問 消費者教育について
健康福祉費
問 妊婦健康診査費助成について、県外での里帰り出産時の健診にも対応すべき。
答 償還払いによる助成も含めた手法を検討していく。障害者授産施設の補助金環境費

日本共産党

問 花木 則彰 委員
子どもの医療費助成、妊婦健診、BSE全頭検査の財源措置を国に求めるべき。
答 他の法令などと連携しながら、必要な財源措置を今後とも国に要望していく。ごみ有料化はやめるべき
東北文化学園大学に適正な運営を求めよ
ふなやま 由美 委員
問 今でも高すぎる国民健康保険料の上昇の範囲内での引き上げはやむを得ない問題の多い後期高齢者医療保険制度は実施中止すべき
国民健康保険の医療費一部

問 世代間の負担均衡化の側面からも改定は妥当である。定時制高校の全ての子どもに教科書代を補助すべき
すげの 直子 委員
問 野村学校給食センターの整備に際し、給食センター（泉区）
すげの 直子 委員

問 野村学校給食センターの整備に際し、給食センター（泉区）
すげの 直子 委員

問 エル・ソーラ仙台の規模縮小はもっと丁寧な対応を。
すげの 直子 委員

民主クラブ仙台



仙台市内の助産所で出産されたばかりのママと3人のお姉ちゃん

問 妊婦健診の助成回数拡大に関し健診機関として助産所が含まれていない。妊婦健診助成においては助産所を含めるべきではないか。
答 第二旭橋に至るまでの拡幅工事は、一部の地権者からまだ協力を得られず遅れている。今後とも関係地権者に協力をお願いしてまいりたい。宮沢根白石線南鍛冶町工区の東北本線跨線橋建設時期冒険広場の展望台は住民の要望に応える見直しを
高藤 範夫 委員

問 小中学校統廃合の前提として、一定規模以下の学校は学力等の教育環境が劣るとしているが、標準学力検査の結果と学校規模との間に相関係数はあったのか
答 放課後や週末等に子供たちが安全に安心して活動でき、健やかに育まれるよう、放課後子ども教室推進事業等に積極的に取り組むべきだ。
大泉 鉄之助 委員
問 市長が提示した施策展開の総括
答 市長が提示した施策展開の総括については、歳入確保が肝要だ。どのように取り組んでいく方針か
答 市税収入が減収になっている中、税収増のために、経済全体が活性化する仕組み・環境を整える税源の涵養が重要だ。また、地方分権を進めていく観点からも、国からの税源の移譲について、他の自治体や市長会等と協力して取り組んでまいりたい。
取令市移行から満二十年を迎えて市長の所見
家庭ごみ有料化実施にあたっての市長の決意

問 市内三箇所（クレーテニスコートの利用期間については暖冬が続いているので十二月も利用可能としては。
答 利用者へのニーズもあり実施に向けて検討したい。
問 防災無線のデジタル化にあたり、避難所となる小中学校にも移動局を設置しては、百九十二箇所の小中学校への設置を予定したい。
答 安孫子 雅浩 委員
問 教職員心のケア充実と職員の加配に資する職場環境の改善が必要と考えるが、職員の勤務実態把握と
待機児童ゼロにするための現状認識と今後の展開
木村 勝博 委員
問 仙台市内への企業誘致に、市長は目に見える実績を上げるべきではないか。
答 先頭に立ち、都市型の立地条件に合致する業種の仙台市内への企業誘致に向け、なお一層頑張りたい。仙台藩の領地だった龍ヶ崎市の交流促進について
歴史の町名復活事業の今後のあり方について
日下 富士夫 委員

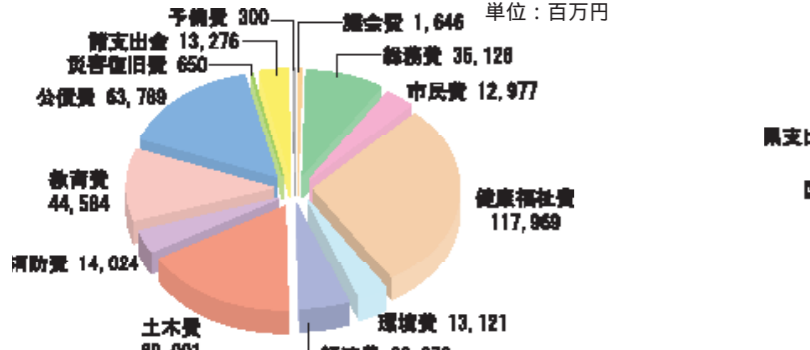
平成20年度 各会計別歳出予算総括

会計	区分	単位：百万円	
		当初予算額	対前年度比 (%)
一	一般会計	408,733	101.2
特別会計	都市改造事業	9,251	63.3
	国民健康保険事業	84,181	100.6
	中央卸売市場事業	2,747	107.0
	公共用地先行取得事業	4,513	172.4
	駐車場事業	437	88.5
	老人保健医療事業	9,174	13.5
	公債管理	116,283	108.6
	母子寡婦福祉資金貸付事業	131	106.7
	新築事業	1,010	114.3
	介護保険事業	46,690	105.6
	後期高齢者医療事業	7,275	-
	小計	281,692	86.9
	下水道事業	51,350	89.0
	自動車運送事業	12,805	99.4
高速鉄道事業	60,045	159.0	
水道事業	47,539	110.7	
水たす事業	53,721	103.3	
病院事業	13,096	100.1	
小計	238,556	110.3	
総計		928,981	98.4

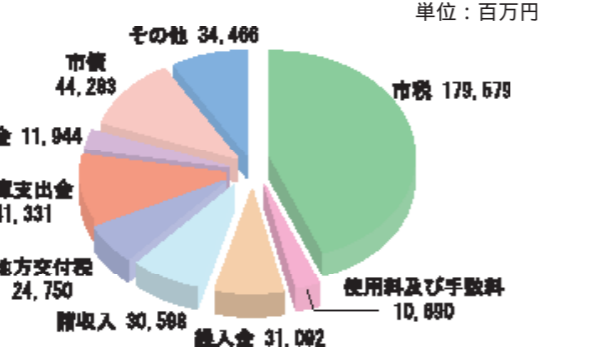
平成20年度 市税の内訳

税目	単位：百万円	
	当初予算額	構成比 (%)
市民税	85,781	47.7
固定資産税	67,430	37.6
軽自動車税	919	0.5
市たばこ税	7,272	4.1
鉱産税	1	0.0
特別土地保有税	3	0.0
入湯税	228	0.1
事業所税	4,621	2.6
都市計画税	13,324	7.4
合	179,579	100.0

平成20年度 一般会計歳出予算費目別内訳



平成20年度 一般会計歳入予算費目別内訳



会派別 議案等賛否一覧表

議案等 [] 内は議案番号	会派名 () 内は所属議員数	改革	民主	公	日	社	採
		ネット・自民 (20)	クラブ仙台 (12)	明 (8)	共 (8)	民 (6)	
一般会計(第5号)[1]					×		可決
補正予算案 特別会計 ・都市改造事業(第3号)[2] ・国民健康保険事業(第1号)[3] ・老人保健医療事業(第1号)[4]・公債管理(第2号)[5] ・新墓園事業(第1号)[6]・介護保険事業(第1号)[7] 企業会計 ・下水道事業(第1号)[8]・自動車運送事業(第1号)[9] ・高速鉄道事業(第3号)[10]・水道事業(第1号)[11] ・ガス事業(第1号)[12]・病院事業(第1号)[13]						可決	
平成二十年度予算案 一般会計 [14] 特別会計 ・国民健康保険事業 [16]・後期高齢者医療事業 [25] 特別会計 ・都市改造事業 [15]・中央卸売市場事業 [17] ・公共用地先行取得事業 [18]・駐車場事業 [19] ・公債管理 [21]・母子寡婦福祉資金貸付事業 [22] ・新墓園事業 [23]・介護保険事業 [24] 企業会計 ・下水道事業 [26]・水道事業 [29]・病院事業 [31] 特別会計 ・老人保健医療事業 [20] 企業会計 ・自動車運送事業 [27]・高速鉄道事業 [28] ・ガス事業 [30]				×	×	可決	
条例制定案 後期高齢者医療に関する条例 [32]					×	×	可決
条例改正案 職員定数条例 [33]、学校条例 [43]、学校給食センター条例 [44]、国民健康保険条例 [60] 特別職の職員の給与、旅費、費用弁償の額並びにその支給方法に関する条例 [34]、市長等の給与に関する条例 [35]、コミュニティ・センター条例 [37]、心身障害者扶養共済制度条例 [38]、介護保険条例の一部を改正する条例 [39]、情報・産業プラザ条例 [40]、建築基準法の施行に関する条例 [41]、自転車等駐車場条例 [42]、手数料条例 [61]、保健所及び保健センター条例等 [62] 特別会計条例 [36]				×	×	可決	
その他議案 工事請負契約の締結に関する件(都市計画道路北四番丁大衡線(北山工区)(仮称)北山トンネル新設工事) [45]、指定管理者の指定に関する件(北六番丁市営住宅及びその共同施設等) [49]、包括外部監査契約の締結に関する件 [50]、町の区域をあらたに画する件 [51]、町の区域の変更に関する件 [54]、土地開発公社の定款の変更に関する件 [55]、市道路線の認定に関する件 [56]、有料の道路の料金の変更に係る同意に関する件 [57] 訴えの提起に関する件 [46] 48] 固定資産評価審査委員会の委員の選任に関する件 [58]、人事委員会の委員の選任に関する件 [63] 人権擁護委員候補者の推薦に関する件 [59]				×		可決 同意 異議のないものと決定	
議員提出議案 議第1号 特別職の職員の給与、旅費、費用弁償の額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例 議第2号 政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例 議第3号 政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例 意見書第1号 地方自治体の安定的財政運営と道路特定財源の確保を求め				×		可決 可決 上記議案が可決されたことにより、議決不要 可決	

：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対

政務調査費制度を改正しました

仙台市議会では、平成 19 年 10 月に出された「政務調査費に関する検討会議」からの答申に基づき、同年 10 月に「政務調査費に関する条例等整備会議」を設置し、政務調査費制度に関する条例、施行規則、要綱の改正と取扱い手引書の作成に向けた協議を行ってまいりました。3 月 14 日に条例改正案を可決したほか、同月中に使用基準を定めた条例施行規則や交付についての要綱の改正、政務調査費取扱い手引書の作成を行い、平成 20 年 4 月 1 日より施行しました。

＜主な改正内容＞

交付額を会派所属議員一人あたり月額 38 万円から 35 万円に減額する。

政務調査費の支出については実費を原則とすることを明記し、政務調査費とそれ以外の経費を明確に区分しがたい場合は、従事割合その他合理的な方法により按分した額を支出額とする。

議長に提出する収支状況報告書には、領収書(1 件につき 1 万円を超えるもの)及び調査研究活動報告書を添付する。

人件費は、生計を一にする家族、親族の常勤雇用に要する経費は、政務調査費の対象外の経費とする。

事務所費は、自己所有建物や自宅を事務所に使用する場合には、賃料または賃料に相当する額を対象外とする。

会派での領収書等の書類保管期間を、議長への収支状況報告書提出期限の日から、3 年間とする。

改正後の条例・規則・要綱は、仙台市議会ホームページ (<http://www.gikai.city.sendai.jp/>) に掲載しています。

議員提案条例の紹介

今定例会では、議員提案による 2 件の条例が成立しました。

議第 1 号 特別職の職員の給与、旅費、費用弁償の額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例

平成 20 年度の報酬月額を議長は 5 万円、副議長は 4 万円、議員は 1 万 6 千円減額するもの。

議第 2 号 政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

交付額を一人あたり月額 38 万円から 35 万円に減額するとともに、議長に提出する収支状況報告書の支出額は実費を原則とし、領収書等の写し及び調査研究活動報告書を添付することとする等のもの。

意見書

《可決された意見書》

意見書第一号
地方自治体の安定的財政運営と道路特定財源の確保を求め
る件
提出先は、国会・内閣総理大臣ほかです。

請願

《継続審査となった請願》

第一号請願 家庭ごみ収集有料化の実施凍結を求める件
請願者 区民要求を実現する青葉区民の会

第二号請願 家庭ごみ収集有料化の実施凍結を求める件

請願者 宮城野区区民要求実現連絡会

出浦 秀隆 外二 九五名

石井美恵子 外一 一六四名

第三号請願 家庭ごみ収集有料化の中止を求める件

請願者 区民要求の実現をめざす太白区連絡会
郷右近 常泰 外六一五名

編集後記

今年度広報委員による最後の発行となりました。みなさまがご覧になる頃は桜の季節も終わり、若葉が鮮やかな時期かと思えます。

これまで、ポスターや市議会だよりに対するご意見をいただき、委員会として真剣に議論し、対応してまいりました。今後ともご意見をお寄せいただければ幸いです。

今年度は、仙台・宮城 DC が開催されます。全国から多くの方が来仙され、そのみなさまから「仙台はきれいですね」「美味しいですよ」等の評判が広がればと願うものです。議会を含めた仙台市全体が良い評価を受けられるよう、これからも頑張っていきたいと思います。

平成二十一年第二回定例会は、六月十一日から二十六日まで開会予定です